

1 学期始業式校長の話（骨子）

- 平成30年度の新学期を迎え、私も湯本高校の2年生（昨年度赴任したので）になりました。私自身、今年度も皆さんの部活動で活躍する姿、学校行事で楽しんでいる姿、もちろん一生懸命に勉強している姿に接することができる、と思うと「ワクワク」します。
- 皆さんもそれぞれ2年生、3年生になり、新たな気持ちで今日の新学期を迎えていると思います。
- 新学期が始まるにあたり大きく2つのことについて話をします。
- 一つは「言葉」を大切にしてください、ということです。

私は、3月末に本校を退職した蛭田先生から次の「言葉」をもらいました。

「先生方のやる気を更に引き出し、湯本高校の更なる発展をお願いします」

蛭田先生のこの言葉は「嬉しいと感じ私のやる気を引き出す」ものでした。

（皆さんにとってはそう感じないかもしれませんが）

- 言葉は、「人からもらう言葉」と「人に与える言葉」に分類できる。
人に与える言葉は、励ましであったり勇気を与えたりする言葉なら良いが、相手を中傷したり非難したりする言葉や使わないようにしましょう。特にSNS等で安易に相手を傷つける言葉を発することはやめましょう。
「おはよう」という言葉も相手を元気にする言葉である。ただし、その人の言い方や表情によっては相手を不愉快にしてしまう。
- 二つ目は昨年度この始業式で話した三つのことです。
 - 1 学ぶことにより、良き変容を遂げること
学校には様々な形の学びがある その学びを大切にすること
そして、1年後2年後に良き変容をとげてほしい
 - 2 お互いに尊敬される存在になること
自分を磨いてください 同時に相手を認めてください
そして「いじめ」のない学校にしよう
 - 3 ルールを守ること
本校のルールを守ることが快適な学校生活を送ることにつながる
- 3年生に対して
一歩前に踏み出すこと 行動を起こすこと
今を大切にしない人には良い進路（目標の大学、会社には行けない）はない
今やるべきことやる 魔法のような手立てはない
- 2年生に対して
自分の進路希望を実現するための力を蓄える時期だと思ってほしい
目の前にあるものに積極的に取り組むこと